

有害鳥獣対策部会

連携テーマ

ニホンジカ、カワウに係る**広域連携体制の構築**

〔取組の方向〕 ①生息状況の情報共有 ②捕獲、被害対策の取組状況の情報交換 ③広域的な取組方針の検討

成果

★中国5県が連携し、広域的な視点で対策を進めるための「**広域管理方針**」を策定 (H31.3月)

★ 広域管理方針を推進・検証する「**中国5県ニホンジカ / カワウ対策連絡会**」(仮称)を新たに組織

➡ **【H31～】連絡会を核として、5県が連携した対策をスタート**

※従来の各県域を視点とした対策から、広域で足並みをそろえた効果的な連携対策へと発展

具体の取組内容

《ニホンジカ》

(1)「捕獲強化月間」(10月)の設定と**捕獲強化**

【H30】既に取り組んでいる鳥取県・岡山県に加え、**山口県も参画し、区域拡大**
・捕獲数 2,094頭(鳥取553頭、岡山 1,079頭、山口 462頭)

【R元】県境域の分布拡大が著しい**区域を中心に捕獲強化を継続**(鳥取・岡山)
県境域で生息動向を踏まえ対策を検討(島根・広島)



(2) 合同研修会の開催

【H30】鳥取・岡山・兵庫県による合同研修会を開催
(H31.2、会場:鳥取県)

【R元】猟友会・市町村・県が参画する合同研修会を継続実施

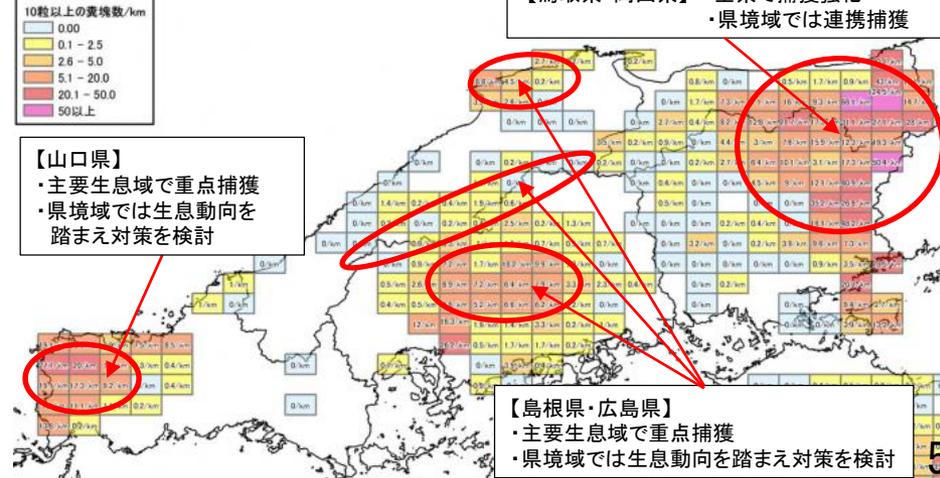
(3) 5県分布状況図の更新・共有

【H30】5県全体の分布状況図を更新。広域方針の策定に活用

【R元】H30年度の調査結果を反映し、最新の生息域を把握。
近県の状況も踏まえた効果的な施策の検討に活用



【シカの地域別対策】



有害鳥獣対策部会

《カワウ》

(1) 「被害防除強化期間」(年3回)の設定と対策強化

【R元】5県が連携して「被害防除強化期間」を新たに設定し、アユの「遡上」、「放流」、「産卵及び盛漁期」の期間中に一級河川等での対策を強化(追い払い、テグス張り等)

(2) 個体群管理の取組の展開

【H30】**地中海でモデル的取組**となる**専門家による空気銃による集中捕獲**を実施(H30.5)
・環境省、鳥取・島根県、市町、漁協等による連携した対策をスタート(捕獲数 364羽)

【R元】大規模コロニー等での空気銃による集中捕獲、巢落とし(中海、鳥取、岡山、山口)
シャープシューティング(H30)後のモニタリング(効果検証)(広島)

(3) ねぐら・コロニー分布状況図の更新・共有

【H30】5県全体の分布状況図を更新。広域方針の策定に活用

【R元】H30年度のモニタリング調査(生息、繁殖など)の結果を反映し、最新の生息域を把握。近県の状況も踏まえた効果的な施策の検討に活用

凡例	コロニーの対策内容
●	シャープシューティング
●	巢落とし
●	専門家を招き、対策を検討
●	シャープシューティング効果検証
〰	追い払い(一級河川)

【カワウ対策の実施河川等】



《(参考)ツキノワグマ》 ※有害鳥獣対策部会としてフォローアップ

○中国5県ツキノワグマ対策連絡会議の開催(H31.3) … 捕獲・生息状況、堅果類等豊凶調査等の情報交換